

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24318
事業名	就業サポートセンター等事業費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 雇用労働課				
	課長名	佐々木 薫	担当者名	鷲田 雄平	電話番号	011-211-2278
施策名	主	誰もが活躍できる社会の実現				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	求職者を対象に、就職に役立つセミナーやカウンセリングなどの再就職支援を実施する。また、求職者と求人企業のマッチングを図り、早期の就労を目指す。			
		長期	全区で職業相談・紹介のサービスを受けられる体制を維持し、求職者一人ひとりが希望する形での就職を実現する。			
	取組内容	ハローワークなどと連携して、就業サポートセンター(北区)、あいワーク(北区を除く9区)に設置した窓口において、求職者向けに職業相談・紹介、情報提供を行う。 ①就業サポートセンター:官民共同窓口による職業紹介サービスを提供するほか、セミナー等による再就職支援事業、スキルアップ支援・職場実習を活用した就職支援を実施。 ②あいワーク:区役所の住民サービスとハローワークの職業相談・紹介サービスがワンストップで提供できるよう札幌市とハローワークが連携して就職支援を実施。				
実施結果	令和3年度の本事業主要実績(就業サポートセンター・あいワーク合算値)は以下のとおり。 利用者数:延べ82,817人、相談件数:延べ76,473件、紹介件数:15,660件、就職件数:4,198人 ※令和3年度の成果指標について、当該事業では集計できない数値であること、また、活動指標・成果指標について、累計値を定めていたが、いつからいつまでの累計値か不明確であるため、単年度として集計することとし、指標内容を前年度と同じものへ変更することとする。					
事業実施における工夫点	新型コロナウイルス感染症の影響により、離職等を余儀なくされた方を支援する専門窓口及び当該感染症の影響によりアルバイト等の収入が減少した学生向けの相談窓口による支援を継続した。また、オンラインを活用したWeb面接に必要な知識やスキルの習得を促す専門的な施設を開設した。					
対象者	求職者	開始	平成16年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	職業安定法、雇用対策法					
他都市の状況	官民共同窓口による職業相談・紹介サービスを実施しているのは、本市だけである。 あいワークのような雇用対策法に基づき国と連携して、就労支援をワンストップで行う一体的施設は、広く他都市でも実施されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	172,372	195,000	184,148	195,000	
うち特定財源	13,000	0	14,000	0	
人工	1.2	1.2	1.2	1.2	
人件費	8,640	8,640	8,640	8,640	
計(事業費+人件費)	181,012	203,640	192,788	203,640	
事業費の内訳	令和3年度決算	①運営委託費(就業サポートセンター、あいワーク):132,618千円、②就業サポートセンター関連事業:26,361千円、③社会保険手続等相談事業:3,539千円、④サーバー保守管理等:7,630千円、⑤新型コロナ特別就業専門相談窓口の運営及び学生サポートデスクの運営等:14,000千円			
	令和4年度予算	①運営委託費(就業サポートセンター、あいワーク):142,340千円、②就業サポートセンター関連事業:41,844千円、③社会保険手続等相談事業:3,716千円、④サーバー保守管理等:7,100千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	就業サポートセンター・あいワーク利用者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	90114	100000	82817	100000	
活動指標2	指標名	高齢者向けセミナー参加者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	122	264	80	264	
成果指標1	指標名	就業サポートセンター・あいワークを利用した者の就職件数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	4303	6000	4198	5300	
成果指標2	指標名	就業サポートセンターにおける再就職支援事業の就職者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	284	310	255	300	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出自粛要請などにより、施設の利用者数は当初予定の100,000人を下回る82,817人(対前年度比▲8.1%)となった。また、利用者の減少に伴い、全体の就職者数が対前年比で2.4%減少するとともに、再就職支援事業の就職者数について、目標310人に対して実績255人(達成率82.3%)となった。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	感染症の影響により離職者等が増加傾向にある現況においては、恒常的かつ継続的に就労支援サービスを提供する必要があること、また、近年、求職者数に占める高齢者の割合が高まっている状況を鑑みても、職住近接を求める傾向のある高齢求職者への支援を十分に実施するためには、市内全区に就業サポートセンターやあいワークのような常設の就労支援窓口を設置し、札幌市として雇用のセーフティネットの役割を担う必要がある。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業における支援メニューは多岐に亘り、就業サポートセンターのほか国と一体的に実施しているあいワークにおいても、より実効的な就労支援が求められている。このため、広範で専門的なノウハウを有する民間事業者の中から、本事業の受託者を公募型企画提案により選定する方式は適切な実手法といえる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	就業サポートセンターの就職支援セミナー及びスキルアップ講座の受講者に対して実施したアンケートでは、当該サービスが「役に立った」と回答した方の割合はそれぞれ99.7%、98.1%であり、いずれも非常に高い水準に達しており、本事業の支援メニューに対する対象者の満足度は高いといえる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	アフターコロナを見据えた新しい働き方の推進のほか、少子高齢化による生産年齢人口の減少などの喫緊の課題の解消に向けて、各種支援サービスのさらなる強化を図ることが求められるが、人員や予算といった限られた行政資源をどのように配分すれば事業効果を最大化できるのか引き続き検討していく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	令和2年度から実施している感染症対策としての取組を継続するほか、オンラインを活用した非接触型の就職活動を支援するための専門施設を常設化した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	コロナの感染拡大防止のための外出自粛要請などの影響により、利用者数の減少に伴い就職者数も目標を達成することはできなかったが、本事業の支援メニューであるセミナー及びスキルアップ講座の満足度がいずれも98%を超え、非常に高い水準に達しているため、利用者のニーズに応えられているものと評価する。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 アフターコロナを見据えた今後の就労支援として、生産年齢人口の減少に対応するため、高齢者に特化した就労支援を行うとともに、多様な働き方に労働者が対応できるよう支援策を検討していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 利用者属性やニーズの変遷に応じて事業内容は随時見直ししていくが、回復傾向にあるものの未だコロナ感染拡大前の回復には至っていない雇用情勢下に柔軟に対応するには、現状と同規模の事業予算が必要である。		見直し効果額	0